

# 第2次「東コミまちづくり計画」

2024（令和6）～2028（令和10）年度



地域の将来像

「まちづくりの主役は私とあなた 未来に<sup>つな</sup>絆ぐまちづくり」

東地区コミュニティ運営協議会

## はじめに ～第2次まちづくり計画の策定にあたって～

東地区コミュニティ運営協議会では、2019（平成31）年、「地域ぐるみの支え合い、安全・安心して暮らせるまちを目指す」ことで、最初の「まちづくり計画（第1次）」を策定しました。

この計画に基づき、2019年度から2023（令和5）年度の5年間にわたり「高齢者に優しい」「防災に強い」「地域で子どもを育てる」「自然環境を守り、活かす」ふるさとのまちづくりを進めてきました。

今回、第1次「まちづくり計画」が最終年度となることから、これまでの5年間の事業について検証を行い、2024（令和6）年度から2028（令和10）年度の5年間にわたる第2次「まちづくり計画」を策定しました。

この第2次まちづくり計画を策定するにあたり、東地区の各区から選ばれた「まちづくり計画策定委員」の皆さんと幾度も会議を重ね、また、地域住民が参加した「東コミまちづくり計画ワークショップ」を開催し、多くの貴重なご意見をいただきました。

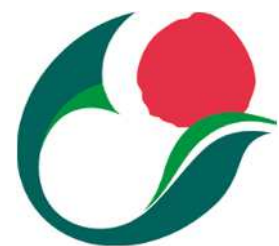
東コミの多くの方々の協力で作られたこの計画は、これからの皆さんのまちづくりの指針となります。今後5年間、地域の皆さんと一緒に、このまちづくり計画を推進していく所存です。

## 東地区コミュニティ運営協議会

会長 小野原 正人

### 東コミのシンボルマークについて

「ひがし(東)」の”ひ”を模した、山の東から登る朝日が、顔をのぞかせ、大野城市に光を届けるイメージです。”ひ”は、折り重なる山や、流れる風を模し、豊かな自然を、柔らかいラインで、思いやり・人にやさしいまちを表現しています。



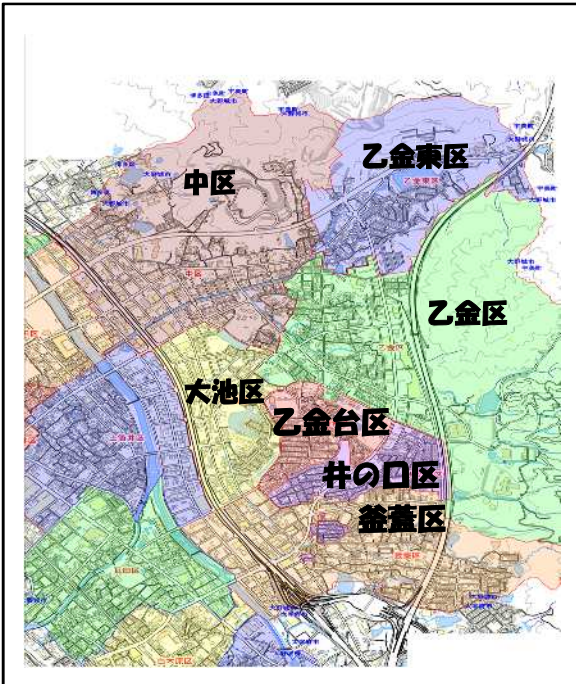
東コミシンボルカラー（赤）

# 目次

第1部	<u>地域の概要</u> .....	1
	東コミの概要とこれまでの歩み	
	「コミュニティ運営協議会」について	
	第1次「まちづくり計画」と東コミの課題	
第2部	<u>地域の将来像</u> .....	5
	「まちづくりの主演は私とあなた 未来に <sup>つな</sup> 絆ぐまちづくり」	
第3部	<u>地域が目指す姿</u> .....	6
第4部	<u>まちづくりの具体的計画</u> .....	7
	Plan1 ～防災・防犯～	
	災害に強く、誰もが安心して暮らせる、“助け合い”のまちづくり	
	Plan2 ～福祉～	
	高齢者など支えが必要な人に寄り添う“支え合い”のまちづくり	
	Plan3 ～子ども・若者～	
	未来ある子どもたちを地域で育てる“愛情’のまちづくり	
	Plan4 ～まちづくり・人づくり～	
	“人のつながり”を大切に、誰もが住みよく活気あるまちづくり	
※	まちづくり計画 5 年間の計画表(ロードマップ) .....	11
	《資料編》 .....	12
	1)まちづくり計画策定委員会による第2次「まちづくり計画」策定経過報告	
	2)令和5年まちづくり計画ワークショップでの意見集約	
	3)東コミ及び区の活動事業一覧	
	4)第2次「まちづくり計画」策定委員及び事務局の紹介	

## 第1部 地域の概要

東地区の7区配置図(区ごとの色分け)



### 東コミの概要とこれまでの歩み

東地区コミュニティ(東コミ)が位置する大野城市の東地区は、市名の由来ともなっている日本最古の山城「大野城」がねむる、四王寺山の麓に広がっています。

その四王寺山を中心とした自然環境に加え、大野城跡や善一田古墳群などの歴史的文化財、市内外から多くの人がスポーツを楽しむ、まどかパーク(大野城総合公園)といった「地域資源」に恵まれています。

近年では、県道那珂川・宇美線、現人橋・乙金線などの都市基盤整備や、乙金地区の区画整理事業を契機に、大規模な宅地開発や大型商業施設の出店、子育て世帯を中心とした人口増加が進んでおり、東コミのまちのかたちが大きく変貌し、さらに活気ある地域へと進化を続けています。

東コミ(東地区)におけるこの10年の人口・世帯数の増減

時期	人口(人)	世帯数
2013(平成25)年 4月	16,151	6,537
2023(令和5)年 4月	17,965	7,867
10年間の増減	+1,814人	+1,330世帯

### 「コミュニティ運営協議会」について

かつては東地区の7区(釜蓋・井の口・中・乙金・乙金台・乙金東・大池)で構成された「東地区コミュニティ運営委員会」が、れくスポ祭や文化祭等などのイベントをはじめ様々なコミュニティ活動を行ってきました。

2018(平成30)年4月、この運営委員会にNPOや企業、学校など様々な団体を加え、東地区の地域課題の解決やまちづくり事業を進めていくことを目指し、新たに「東地区コミュニティ運営協議会」(東コミ運協)が発足しました。東コミ運協は、役員会や体育・文化・福祉などの部会によって構成され、従来から行われてきたイベントや活動に加え、「コミュニティ別まちづくり計画」に基づいた課題解決型の事業を展開しています。





## 第1次「まちづくり計画」と東コミの課題

「コミュニティ別まちづくり計画」(第1次)は、市内の4つの地区コミュニティ(南・中央・東・北)が、それぞれの地域の特色を生かしながら課題を解決するためのものとして、2019(平成31)年に策定されました。東コミの第1次計画では、「地域ぐるみの支え合い、安全・安心して暮らせるまちをめざす」を地域の将来像に掲げ、(1)高齢者(2)防災(3)子ども(4)地域資源の4つのテーマについて、2023(令和5)年度までの5年間、様々な取組を進めてきました。

### 《この5年間の成果と課題》



## (1) 高齢者にやさしい地域ぐるみの支え合い

①東地区は、市内4コミ地区の中で高齢化率が2番目に高く(2023年4月 =23.9%)、高齢者の生活支援体制(地域包括ケアシステム)の整備や見守り活動、認知症による行方不明者の搜索体制(認知症SOSネット)の構築等の取組を進めてきました。

《成果》 ・「認知症SOSネット」の構築により、東地区の各区と関係機関が連携するしくみができあがりました。

・認知症に関する講演会などの啓発事業が実施されました。

《課題》 ・生活支援体制の整備や見守りについては、民生・児童委員や各区福祉部との連携等が課題となっています。

・福祉に関わる人たちだけでなく、東コミに暮らすみんなで意識を高め、数多くの人たちが気づき・行動する「新たな見守りのかたち」の構築が望まれます。

②東地区は四王寺山のふもとに位置し、坂道の多い地形であることから、高齢者の買い物など、日常生活における移動手段について、検討やシステム整備が進められました。

《成果》 ・2019(令和元)年9月、10人乗り(運転手含む)の高齢者移動支援バス「おげんき号」の運行を東地区内で開始しました。

・ボランティア運転手や企業・商店の方々の寄付等の協力により、おげんき号の乗客数は年々増えてきています。

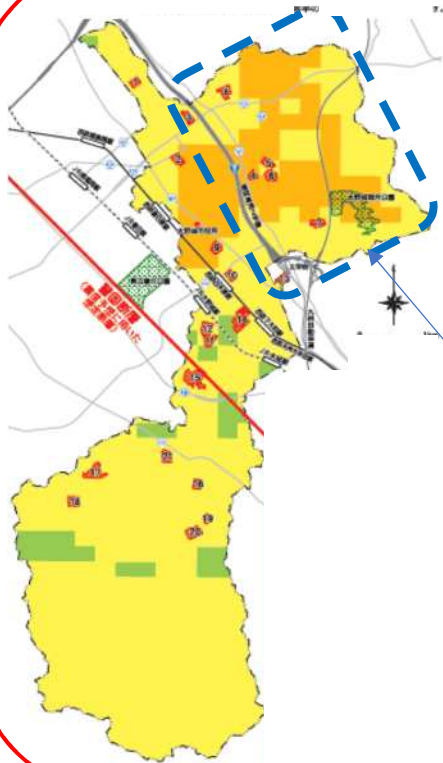
《課題》 ボランティア運転手の人材のさらなる確保などが求められています。

## (2) 防災に強い安心して暮らせる地域ぐるみの助け合い

大野城市は中心部に「警固断層」が通っており、大規模地震の発生とその被害が懸念されています。その中でも東地区は特に大きな被害が想定されており、年々規模を増す風水害と併せて、被害を最小限に食い止めるための取組を進めてきました。

《成果》 九州大学等の他団体とも連携しながら、東コミに特化したハザードマップやマイタイムライン(災害時にどの時点で何をすべきかを書込む表)の作成配布、各区における防災計画の見直し・策定といった取組を進めてきました。

- 《課題》 ・成果として生まれたマップ等の活用や、関係機関・防災士等との連携により、東地区全体の防災意識をさらに高めるとともに、より参加しやすく実用性の高い防災・避難訓練を実施するなど、防災・減災の取組みをさらにレベルアップしていく必要があります。
- ・要介護者の緊急避難誘導についての対策も急務といえます。



【参考：大野城市の震度予想図】

市の2022（令和4）年3月版総合防災マップより

緑色	の部分は <u>震度5強</u>
黄色	の部分は <u>震度6弱</u>
オレンジ色	の部分は <u>震度6強</u>

点線の範囲が東地区で、広い範囲で震度6強の揺れが想定されていることがわかります

### (3)「子どもは宝」地域での子育てと思いやりのあるまち

子育て世帯の増加により、東コミでは地域ぐるみの子どもの見守りや育成に取り組む重要性が高まりました。現在実施している青色パトロールカーによる見守り等の活動に加え、学校やPTA、子ども会等の団体とも連携しながら、子どもの安全や活躍の場等に関する検討や取組みを推進してきました。

- 《成果》 ・青色パトロールカーによる下校時の見守り活動など、地域みんなで子どもたちを見守る活動は成果を上げています。
- ・地元企業やNPOなど様々な団体と連携しながら、2022(令和4)年には「四王寺ふるさとふれあいまつり」、2023(令和5)年には「わくわくキッズフェスタ in東コミ」といった、子どもたちを中心としたイベントを開催しました。

- 《課題》** ・青パト協力者の減少・高齢化などの理由により、東地区に暮らすみんなが関わる「新たな見守りのかたち」の構築が望まれます。また、子どもだけでなく、その保護者も含めた「子育て世帯」の見守りや支援も重要といえます。
- ・様々な団体や事業者と連携しながら、東コミの将来を担う子どもたちの活躍を後押しするとともに、世代間交流などの新たな視点を取り入れた事業の実施が望まれます。



#### (4) 四王寺の自然環境を守り、活かすふるさとづくりのまち

四王寺山に築かれた日本最古の山城「大野城跡」(国の特別史跡)や善一田古墳などの文化財や、豊かな自然環境といった東地区の地域資源を活用しながら、実行委員会形式によるイベントの企画運営、その他「ふるさとづくり」の取組みを行ってきました。

- 《成果》** ・「四王寺ふるさとふれあい祭り」をはじめとした各種事業の中で、四王寺山や善一田古墳へのウォーキング・フィールドワークを行うなど「地域を知り、ふるさとをつくる」取組みを進めてきました。

- 《課題》** ・今後は、他の自然・文化遺産に加え、東コミ内の様々な施設や団体なども含めたより広い範囲の「地域資源」を発掘し、まちづくり・ふるさとづくりに活かしていくことが望まれます。
- ・次の世代の東コミを担う新たな人材の育成や、住民全体のコミュニティ活動への理解・協力を促す意識の醸成、土壌づくりの取組みも急務です。特に、若い世代へのはたらきかけが重要となります。

これらの成果や課題をふまえ、2024～2028(令和6～10)年度の5年間において東コミ運協の将来像やめざす姿、そのために取組むべき事業を示す「第2次まちづくり計画」を次のように定め、東地区の次の時代のまちづくり・ふるさとづくりを進めていきます。



## 第2部 地域の将来像

### 「まちづくりの主役は私とあなた 未来に<sup>つな</sup>絆ぐまちづくり」

東地区コミュニティでは、

- 人のつながりや絆が強く、「一生住みたい」と思えるような、楽しさとやさしさにあふれる「まち」
- 多様性にあふれ、誰もがいきいきと輝き、安心して暮らせる「まち」
- 災害や犯罪などを地域全体でなくしていく、安全な「まち」

を将来にわたって実現し、住民のみなさんが地域に誇りと愛着をもって生活していくことができるコミュニティの実現を目指します。

その実現のためには、東地区に暮らす私たち一人ひとりが、自分たちのまち、そして共に暮らす人々のことを想いながら、「私もあなたもまちづくりの主役である」「自分にできることを、地域のためにする」という前向きな気持ちが必要です。

また、「今までコミュニティ活動に参加したことがない」という人たちの協力を、私たちは必要としています。

「地域の祭りやイベントに参加する」「コミュニティセンターや公民館に立ち寄ってみる」といった「気軽にできること」を、たくさんの人たちに実行してもらえたら、それが東コミのまちの「パワー」になります。

点と点をつなぐと線になり、線と線をつなぐと幅広く長いものになる  
 人を・想いを・力をつないで創りあげる元気なまち、私たちのふるさと「東地区コミュニティ」を、この先の未来につないでいきましょう。





## 第3部 地域が目指す姿

### Plan 1 ～防災・防犯～

#### 災害に強く、誰もが安心して暮らせる“助け合い”のまちづくり

近年頻発する大規模災害に対して「自分の命は自分で守る(自助)」「近隣同士で助け合う(共助)」の意識をみんなで共有し、地震をはじめとする災害の被害を最小限にとどめるための「災害に強い」まちづくりを目指します。

また、地域の見守り活動や防犯パトロールの実施などにより「安全・安心」なまちづくりをさらに進めていきます。



### Plan 2 ～福祉～

#### 高齢者など支えが必要な人に寄り添う“支え合い”のまちづくり

私たち一人一人には、他人と異なる「個性」があります。

その豊かな個性を互いに認め合いながら、高齢者や障がいのある人、妊産婦や乳幼児など「地域の支え」が必要な人たちに対して、一人一人が「自分にできる手助けや見守り」を行い、その輪を東コミ全体に広げていくことにより優しさや思いやりにあふれる「支え合い」のまちづくりをめざします。



### Plan 3 ～子ども・若者～

#### 未来ある子どもたちを地域で育てる“愛情”のまちづくり

まちの未来を担う子どもたちは、地域の宝です。

東コミの子どもたちが、のびのびとすこやかに成長していけるように、子どもの家庭や学校も含めて、地域全体で温かく見守り、みんなで支援しながら育てていく「愛情」のあるまちづくりをめざします。



### Plan 4 ～まちづくり・人づくり～

#### “人のつながり”を大切に、誰もが住みよく活気あるまちづくり

東コミは、古墳や遺跡などの歴史的財産や、四王寺山のふもとの、豊かな自然環境に恵まれています。

そのような風土を活用しながら、様々な地域活動やイベントを通して地域を活性化させるとともに、住民同士の絆やつながりを強くし、みんなが「いつまでも住み続けたい」と思えるようなまちづくりを目指します。

また、東コミの将来を見据えて、これから地域を支えていく人材の発掘や育成、各種団体との連携強化、地域活動に対する住民の意識の醸成を図っていきます。



## 第4部 まちづくりの具体的計画

### Plan 1 ～防災・防犯～

災害に強く、誰もが安心して暮らせる“助け合い“のまちづくり




#### 《防災》

これまでに氾濫や土砂崩れなどの風水害を何度も経験し、また大規模地震によって甚大な被害が予想される東地区において、「防災」の取組は特に重要な課題です。

第2次の「まちづくり計画」では、これまでに作り上げた資料や防災計画を活用し、そして検証しながら、住民への啓発や訓練の充実といった「災害に強いまちづくり」を積極的に進めていきます。

#### 《防犯》

東コミを「安心して暮らせるまち」にしていくための「防犯」の取組についても、今まで以上に力を入れていきます。

実施する事業	取組の内容	具体的取組の例 ※
(1)防災対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市や区、防災士等と連携した取組み</li> <li>・第1次まちづくり計画によって作られた計画等の見直し</li> <li>・「住民が参加しやすい」新たなかたちの訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災リーダーの育成</li> <li>・東コミの防災計画やリスクマップ等の検証・見直し(アップデート)</li> <li>・防災や防犯・交通安全に関する講演会等の開催</li> </ul>
(2)防犯対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における見守り活動や、活動の機運を高めるための催し・運動の実現</li> <li>・「新たな時代の見守り」の仕組み・ツールの運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「青パト」等による防犯パトロールの検証と見直し</li> <li>・コミュニティ通信やホームページの活用</li> <li>・SNS(LINE 等)による情報提供</li> </ul>
(3)防災・防犯啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の防災意識向上をめざす啓発事業</li> <li>・防犯や交通安全をテーマとした啓発活動</li> </ul>	

※具体的取組は例につき、2024(令和6)年度以降のコミュニティ運営協議会の協議等により方針・内容等が変更されることがあります(次ページ以降のPlan2~4についても同じです)

## Plan 2 ～福祉～

## 高齢者など支えが必要な人に寄り添う“支え合い”のまちづくり



- ▼東コミに暮らす一人一人の個性を互いに認め合いながら、地域の中で困っている人や支えを求める人の存在に気づき、その上で「自分にできることをする」「地域や相談機関につなぐ」といった行動をとれる人が増えていくように、地域における「見守り」の輪を広げていきます。
- ▼高齢化社会の中で全国的に整備が進められている「地域包括ケアシステム」の枠組みの中で、コミュニティに求められる役割を認識しながら、東コミならではの「支え合い」「助け合い」のしくみを検討していきます。
- ▼東コミで、これまでも続けられてきた「番茶の会」や「シニア部芸能大会」をはじめとした「交流型の事業」を通じて、生きがいつくりや健康増進の機会を作っていきます。
- ▼ボランティア運転手の皆さんの協力や、企業・事業所の方々の寄付等によって運行されている、高齢者移動支援バス「おげんき号」は、年々乗車人数も増えています。今後も市の公共交通のあり方に合わせながら、通常運行以外の活用方法も含めて検討し、より使いやすいサービスとなるよう努めます。

実施する事業	取組の内容	具体的取組の例
(1)見守り・生きがいつくり事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症等による徘徊・行方不明者の搜索体制の検証</li> <li>・「新たな時代の見守り」の仕組み・ツールの運用</li> <li>・交流型事業による生きがいつくり</li> <li>・健康増進の推進</li> <li>・「元気な高齢者」の活躍の場の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症 SOS ネットの見直し（アップデート）</li> <li>・誰でもできる見守り活動</li> <li>・高齢者を中心とした、交流や健康増進イベントの検討</li> <li>・高齢者による見守り活動や、子ども向けの社会教育活動</li> <li>・福祉や共生をテーマとした講演会等の開催</li> </ul>
(2)福祉に関する啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉や共生をテーマとし、見守りの輪や支え合い・助け合いの輪を広げていくための啓発活動</li> <li>・各種相談窓口等に関する情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ通信やホームページ・SNS(LINE 等)による情報提供、各種相談窓口の情報周知</li> </ul>
(3)高齢者移動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者移動支援バス「おげんき号」の運行と、新たな活用方法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おげんき号」の運行や試乗会実施など</li> </ul>

## Plan 3 ～子ども・若者～

## 未来ある子どもたちを地域で育てる“愛情“のまちづくり

- ▼宅地開発等により東コミのまちの形が大きく変わり、子育て世帯の数が増えている中で、「地域の宝」である子どもたちがすこやかに成長していけるよう、地域全体で子どもたちを見守り、子育て世帯をバックアップする取組みを進めます。
- ▼また、子どもや若者がのびのびとできる居場所づくりや、様々な世代の人たちと交流しながら、活躍する機会を積極的に創り出し、子どもたちが地域との関わりを深め、将来の東コミを担っていくような存在となることを目指します。
- ▼これらの取組みを進める上で、子ども会育成会や学校・PTA・おやじの会といった様々な団体が垣根を越えて連携し、東コミの地域全体で青少年を見守り・育てるしくみを作っていきます。

実施する事業	取組の内容	具体的取組の例
(1) 子どもや家庭の見守り事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校時等における子どもたちの見守り活動</li> <li>・「新たな時代の見守り」の仕組み・ツールの構築</li> <li>・保護者に向けた啓発事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青パトや地域のパトロール隊などによる見守り活動</li> <li>・子育てや青少年育成をテーマとした講演会等の開催</li> <li>・放課後の子どもの居場所づくり</li> <li>・コミュニティ事業を通じた子ども・若者の活躍機会の創出</li> <li>・小学校区間の交流を促進する取組やイベントの検討</li> </ul>
(2) 子ども・若者育成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども・若者の居場所づくり、世代間交流の場の提供</li> <li>・子ども・若者を対象としたイベントの開催や、活躍の場の創出</li> </ul>	
(3) 地域ぐるみの子育て体制整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域及び関係団体(学校・PTA・子ども会育成会)の、地区や校区を越えた連携</li> </ul>	





Plan 4 ～まちづくり・人づくり～

“人のつながり“を大切に、誰もが住みよく活気あるまちづくり



- ▼コミュニティ活動やまちづくりにおいて、最も基礎となるものは「人と人のつながり」です。近年、この「人のつながり」の希薄化が叫ばれてきましたが、2020年(令和2年)頃から始まった「コロナ禍」を経て、「人のつながり」を再評価する動きも出てきています。
- ▼長年にわたって東コミで行われてきた事業やイベントを、新しい世の中に合うように「アップデート」するとともに、社会の流れやニーズを取り入れた「新しい時代の人のつながり」を促す事業を検討し、実施していきます。
- ▼一方で、現在のコミュニティ活動において「参加者が高齢化・固定化している」「新たな参加者・協力者が少ない」などの課題があり、将来に向けた人材不足が懸念されています。東コミにおいて「私もあなたもまちづくりの主演」「自分にできることや得意なことをまちづくりに活かして、役割や負担を分け合う」という意識を高め、東コミの次の世代を担う人材の掘り起こしや育成を、積極的に進めていきます。
- ▼また、東コミにある「地域資源」をさらに発掘・活用し、まちづくりに積極的に取り入れながら、私たちが暮らす東コミのまちを見つめ直し、誇りと愛着を生み出すことによって、東コミを「いつまでも住み続けたい」と思えるまちにしていきます。

実施する事業	取組の内容	具体的取組の例
(1)人のつながり促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人と人とのつながりを深めるための交流型イベントの実施</li> <li>・SNS 等によるデジタル技術を活用した人のつながりの促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の交流型イベントの開催と見直し(アップデート)</li> <li>・ホームページや SNS (LINE 等) を活用した情報発信</li> </ul>
(2)地域資源活用事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東コミ内の地域資源(文化財・自然環境、企業等)を活用した事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源のさらなる発掘と、それを活用した講座やイベント等の実施</li> </ul>
(3)未来の東コミ活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型コミュニティ活動の企画実施、これからのコミュニティ活動を担う年代(主に30代～50代)の人材や団体(おやじの会・若手の会など)の交流・連携の促進</li> <li>・NPO・企業等との連携・共働の促進、事業の実施など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ通信やホームページ等に、地域資源に関するコラム記事等を掲載</li> <li>・次世代の地域リーダー養成のためのプログラムの実施(講座・研修会等)</li> </ul>



◆まちづくり計画 5 年間の計画表(ロードマップ)◆

第4部 まちづくりの具体的取組			年度	2024	2025	2026	2027	2028	
Plan 1 防災・防犯	1. 防災対策事業	防災リーダー育成◆		←→					
		防災対策の検証◆		←→					
	2. 防犯対策事業	青パト関連事業◇		←→					
		見守り等の新たな取組◆		←→					
	3. 防災・防犯啓発事業	講演会等の開催◆		←→			←→		
		その他啓発活動◆		←→					
Plan 2 福祉	1. 見守り・生きがいづくり事業	不明者捜索方法検証◆		←→					
		地域参加機会の創出◇◆		←→					
	2. 福祉に関する啓発事業	講演会等の開催◆		←→					
		その他啓発活動◆			←→				
	3. 高齢者移動支援事業(おげんき号)	運行及び新たな活用の検討等◆		←→					
	Plan 3 子ども・若者	1. 子どもや家庭の見守り事業	見守り・育成の取組◇◆		←→				
保護者・学校への啓発◆					←→				
2. 子ども・若者育成事業		居場所づくり・世代交流◆		←→					
		活躍の場の創出◆			←→				
3. 地域ぐるみの子育て体制整備事業		学校区や地区を超えた連携◆			←→				
Plan 4 まちづくり 人づくり		1. 人のつながり促進事業	交流型イベント開催等◇◆		←→				
	デジタル技術の活用◆			←→					
	2. 地域資源活用事業	資源活用・発掘事業◆		←→					
	3. 未来の東コミ活性化事業	体験型コミュニティ活動◆		←→					
		リーダー養成プログラム◆		←→					
		NPO・企業等の連携◆		←→					

↑



◇ は、市の「地域活動統合補助金」

◆ は、市の「コミュニティ活動活性化交付金」の対象事業を含むもの

## 資料編

## 1) まちづくり計画策定委員会による第2次「まちづくり計画」策定経過報告

日時・会場	会議	会議の概要
2月2日(木)19:00～ 東コミュニティセンター視聴覚室	第1回策定委員会	・オリエンテーション(「まちづくり計画」とは?) ・今後の進め方について
2月28日(火)19:00～ 東コミュニティセンター視聴覚室	第2回策定委員会	・委員自己紹介(アイスブレイク) ・第1次計画の検証(防災・防犯)
3月28日(火)19:00～ 東コミュニティセンター視聴覚室	第3回策定委員会	・まちづくり計画の位置づけ(説明) ・第1次計画の検証(福祉) ・第1次計画の検証(子ども地域資源)
4月21日(金)19:00～ 東コミュニティセンター視聴覚室	第4回策定委員会	・第1次計画策定時の「こぼれ話」(説明) ・第1次計画の検証(総括)
5月31日(水)19:00～ 東コミュニティセンター視聴覚室	第5回策定委員会	・第2次計画の骨子案の提案 ⇒骨子案の内容についての意見聴取 (第1～3部の印象・感想等)
6月28日(水)19:00～ 東コミュニティセンター視聴覚室	第6回策定委員会	・第2次計画の骨子案の協議 「第2部地域の将来像」案の決定 「第3部地域がめざす姿」案の修正
7月6日(木)10:00～ 東コミュニティセンター研修室1	東地区コミュニティ 運営協議会役員会	・第2次計画策定の中間報告と骨子案 について承認 ⇒ ワークショップの実施に ついて決定
8月31日(木)19:00～ 東コミュニティセンター多目的室	東コミまちづくり計画 ワークショップ	詳細は後述
10月19日(木)19:00～ 東コミュニティセンター視聴覚室	第7回策定委員会	・ワークショップの実施報告 ・計画素案の説明・提示 素案の内容についての協議
12月5日(火)19:00～ 東コミュニティセンター視聴覚室	第8回策定委員会	・計画修正案の説明・提示 修正案の内容についての協議 策定委員会の承認・計画案の決定
12月14日(木)10:00～ 東コミュニティセンター研修室2	東地区コミュニティ 運営協議会役員会	・策定委員会の報告及び計画案の提案 ⇒承認

## 2) 「まちづくり計画ワークショップ」での意見集約

1. 日時・場所 令和5年8月31日(木)19～21時 東コミュニティセンター多目的室
2. 主催 東地区コミュニティ運営協議会
3. 参加者 東地区在住の方 50名
4. 目的 第2次まちづくり計画の策定にあたり、計画の内容に地域住民の意見を反映させるため
5. ファシリテーター(進行・助言) NPO 法人ドネルモ 事務局長 宮田 智史 さん  
(第2次「まちづくり計画」策定委員会コーディネーター)
6. 実施方法 8つの班に分け、班ごとに決められたテーマに沿って意見を出し合った  
(ワールドカフェ方式)
7. 次第
  - (1) 開会あいさつ (東コミ運協・小野原 正人 会長)
  - (2) ワークショップの趣旨説明 (宮田ファシリテーター)
  - (3) まちづくり計画の骨子案と現在の活動説明 (東コミ運協・高橋 光治 事務局長)
  - (4) ワークショップ (進行:宮田ファシリテーター)  
各班で1回目の話し合い ⇒ 参加者が他の班に移動して2回目の話し合い  
⇒ 再度移動して3回目の話し合い ⇒ 各班の意見発表(内容の共有)  
⇒ 宮田ファシリテーターによるまとめ
  - (5) 閉会あいさつ (小野原会長)

※ワークショップで出された意見について(主なもの)

## 【テーマ:防災・防犯】

◆防災

- ・地域における日常のコミュニケーションや、ペット避難に関する情報等が不足している
- ・防災訓練参加者が固定化している
- ・避難所で過ごすことに抵抗感がある
- ・区や組単位で、避難の経路や時期を話し合う機会を持つことが大事
- ・クリーンシティなどの時に、井戸端会議で話し合ったらどうか
- ・避難所宿泊体験イベントなどよいのでは
- ・向こう三軒両隣のコミュニケーションが重要
- ・災害時に炊き出しに利用できるベンチがあるが、それを、普段はバーベキュー大会などに使っているかどうか

◆防犯

- ・青パトは、大いに役立っている。しかし、隊員の高齢化が進み、従事者が減少している。ただ、活動時間の制約もあり、現役世代の参加も難しい



- ・パトロール用の制服を着ていないと、声掛けもなかなかできない
- ・犬の散歩のついでに行う「わんわんパトロール」など、新しい形の見守り活動が必要
- ・子どもの登下校時間に、自宅の窓を注意して見たり、家の外に出るなどしてはどうか
- ・子どもとのコミュニケーションのあり方について考えることが大切

### 【テーマ:福祉】

#### ◆おげんき号

- ・事業費(地域負担)がどこまで続くか、また寄付してくれる企業等へのメリットも考えないと
- ・周知方法、利用者へもっとアピールを
- ・公民館やコミセンでのイベント時に、高齢者の送迎等を行っては

#### ◆その他・福祉全般

- ・「番茶の会」について、対象者を会場まで連れてくる方法(移動手段)がない
- ・事業をしても(支援を必要とする人が)公民館やコミセンになかなか人が集まらない  
(特に男性が来ない ⇒ 引きこもりがちな退職後の男性に向けた取組みを考えてみては)
- ・「家から出たい、けど出られない」人への対応が重要
- ・高齢者等の孤食の問題もある ⇒ 「おとな食堂」などはどうか?
- ・年齢に関係なく交流できる場、イベントがあるといい
- ・地域と関わることへの“きっかけ”が難しいが、しかしここが一番重要でもある
- ・役員(活動者)側も楽しめるような取組みが必要

### 【テーマ:子ども・若者】

#### ◆子ども・若者に向けた事業やイベントについて

- ・青少年向けの地域参加プログラムが少ない
- ・子どもたちにその情報をどう届けるか?
- ・子どもたちの得意分野(ゲーム・スポーツなど)を考えながら、魅力あるものを
- ・子どもたち自身が企画段階から加わる大切(今は企画側と参加側に年代のギャップがある)いきなり企画はハードルが高いので、「お手伝い」してもらうことから始めてみては

#### ◆その他

- ・17時以降の児童の居場所が必要
- ・子どもらを見守る「大人の目」の重要性
- ・中高生・青年層と地域との関わりが薄い(コミセンや公民館にあまり来ない)
- ・保護者を対象とした「子育て講演会」などをしてはどうか
- ・小・中学校との連携が大切。ただし東地区は校区が入り組んでいるのが課題であり、校区を超えた取組が必要

## 【テーマ:まちづくり・人づくり】

## ◆まちづくり

- ・地域資源を活用できていない、もったいない!

## ◆人づくり

- ・地域活動の強制的または動員による参加が多く、メンバーが固定化・高齢化している
- ・定年後や若年層の人たちのコミュニティ活動に呼び込みたいが・・・難しい
- ・集合住宅の入居者と、地域団体とのつながりを
- ・PTA・おやじの会の役員の中に、(次の時代の地域活動を担う)有望な人材が少なくないが、子どもの成長や卒業と共にその人たちも活動から卒業してしまう。有望な人たちを地域活動につなぎとめておくことができればいいのだが
- ・若く有望な人材を対象とした(次世代リーダーのための)研修会や親睦会などがあってもよいのでは
- ・他の事業やイベントでの人集めには苦勞していても、夏祭りは多くの人 coming。何かヒントがあるかも
- ・若い人たちを呼びたいのであれば、企画する人たちも若くないと(若い人が何を好むかは、年配の人たちにはわからない)



## 3) 東コミ及び区の活動事業一覧

コミ	東地区コミュニティ運営協議会が行う活動の事業一覧
東コミ	・「まちづくり計画」(福祉・防災・おげんき号・子供の安全地域資源)事業 ・おおの山城大文字まつり ・東コミ文化祭(文化部:各区開催) ・まどかれく スポ祭(体育部) ・カルタ会(青少年育成部) ・番茶の会(福祉部・民生委 員) ・青パト交流会(青少年育成部) ・芸能大会(シニアクラブ) ・アンビ シヤス広場
区	各区が行う活動の事業一覧
乙金台	・梅まつり ・どんど焼き ・年末夜回り ・ケア会議 ・夏まつり ・歩こう 会 ・音楽サロン ・ころころクラブ(大池と共働開催) ・餅つき会 ・足げ んき教室 ・東っ子まつり ・光の祭典(大池と共働開催)
井の口	・夏まつり ・月陽会(毎月) ・登校時見守り ・廃品回収 ・餅つき大 会 ・音楽サロン ・ケア会議 ・グラウンドゴルフ ・足げんき ・ポカポ カ広場
釜蓋	・夏まつり ・餅つき大会 ・子どもレクレーション ・大運動会 ・クリスマ ス会 ・年末夜警 ・親子サロン ・グラウンドゴルフ ・ほんげんぎよう ・ケア会議 ・ミニデイ
乙金	・秋まつり ・ほんげんぎよう ・ハロウィン ・リトミック ・スポーツ大 会 ・春かごめ(新一年)・クリスマス ・子連れヨガ ・餅つき大会 ・年末 夜警 ・お茶会 ・東っ子まつり
乙金東	・夏まつり ・役員 G・G 大会 ・廃品回収 ・東っ子まつり ・スポーツ大 会 ・ミニデイ ・親子料理教室 ・餅つき大会 ・年末警戒パト ・子育 て支援(わかばっ子)
中	・夏まつり ・ほんげんぎよう ・公園草刈り ・区れくスポ祭 ・ミニデ イ ・東っ子まつり ・餅つき大会 ・登下校見守り ・親子サロン(音楽・足 げんき) ・夏まつり ・ケア会議(見守り)
大池	・夏まつり ・どんど焼き ・年末防犯巡回 ・ケア会議 ・餅つき大会 ・子どもキャンプ ・区れくスポ祭 ・ころころクラブ(乙金台と共働開催) ・ 昔遊び ・コスモスサロン ・東っ子まつり ・光の祭典(乙金台と共働開催)
各区共通	・総ぐるみ防災訓練 ・各区消防訓練 ・敬老会 ・春・秋クリーンシティ ・「まちづくり計画」(福祉・防災・おげんき号・子供の安全地域資源)事業 ・乙金さくらの森草刈り

4) まちづくり計画策定委員会委員及び事務局の紹介

策定委員(敬称略)

区名	委員氏名
乙金台区	井上 安夫
井の口区	松本 寛美
釜蓋区	五島 弘和
乙金区	諸賀 和博
乙金東区	川迫 義昭
中区	藤本 多加
大池区	岩田 浩二
乙金区	中島 慈乃
大池区	入江 静

策定委員会コーディネーター

ワークショップファシリテーター

宮田 智史

NPO 法人ドネルモ 事務局長

東地区コミュニティ運営協議会事務局

会長 小野原 正人

副会長 丸山 利男

局長 高橋 光治

局員 旭 清

局員 後藤 百恵

東パートナーシップ活動支援センター

事業部長 牧 知江

事業部班長 氷室 直美

東地域行政センター

(地域行政センター統括課)

課長 岡崎 保彦

係長 藤木 大介

主事 本多 由季

運営協議会役員会アドバイザー

乙金区長 諸 永 政 二

「メンバーの皆さんお疲れ様でした！」



ありがとう  
ございました



第2次「東コミまちづくり計画」

令和6年3月31日発刊

編集 東地区コミュニティ運営協議会

☎ 092-504-1430

[Mail-higashicomiunkyo@gmail.com](mailto:Mail-higashicomiunkyo@gmail.com)